

# 奉祝 天皇陛下御即位

# 巖 神 青



## 会長就任挨拶



第三十代会長

藤原大修

畏くも上皇陛下におかせられましては、平成の御代の三十年に余る年月、日本国と日本国民統合の象徴として、常に私国民の安寧と世界の平和を祈ってこられた大御心に深く感謝申し上げますとともに、令和元年五月一日、第二百二十六代天皇陛下が御即位遊ばされましたこと大慶至極に存じ上げます。万世一系の皇統を紡ぐ皇室を戴き、尊き大御心のもと国民が心豊かに日々の生活を営める我が国の美しい国柄を誇り、謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げます。

ます。そして、御大典諸儀式の諸準備が滞りなく執り進められておられますこと、また、神宮におかれましては諸祭善なく齋行されておられますこと慶賀に存じ上げます。

岩手県神社庁様をはじめ先輩諸賢並びに関係各位におかれましては常日頃より岩手県神道青年会に対し多大なるご指導とご鞭撻を賜っております事に心より御礼申し上げます。

去る平成三十年十一月七日に開催された臨時総会におきまして会長にご選任を頂きました。岩手県神道青年会第三十代会長の大役を仰せつかる事となり、昭和二十四年の創立より先輩諸賢が卓越した見識をもって活動を展開し築き上げ紡いでこられた歴史を次世代に受け継ぐべく、その重責に身の引き締まる思いでございます。もとより浅学非才の身でありますが、斯界の発展のため誠心誠意努力し、会員一同と未来に向かい力強く歩みます。



## 会長退任挨拶



第二十九代会長

高橋 数馬

この度、平成二十九年五月より一期二年務めてきました岩手県神道青年会会長の職を退くこととなりました。在職期間中は、岩手県神社庁長藤原隆鷹様を始め、県内各神社宮司様、先輩諸兄弟の皆様には多大なるご指導を賜り、大過なく重責を果たせましたこと心より深謝申し上げます。そして、副会長をはじめとする役員、会員の皆様には、この二年間多くの諸事業にご協力をいただきましたこと心より感謝申し上げます。

さて、この二年間を振り返りますと東日本大震災復興活動をはじめ、前期より始めた岩手護國神社境内清掃を通しての英霊顕彰事業、そして各選挙においての青年隊活動等様々な活動を展開してきました。震災復興においては、東北六県神道青年協議会主催による「東日本大震災物故者慰霊祭」を下閉伊郡山田町にて斎行致しました。当時の宮古市下閉伊郡支部長でありました上澤富士夫様をはじめ、支部員の皆様にも多大なるご協力を得て慰霊祭斎行できましたことは感謝に堪えません。そして、真の復興を願うべく復興祈願祭も併せて斎行し、地元小学生に浦安の舞の奉納をしていただき、復興と青少年の健全育成の両面からアプローチできた事業でありました。また、植樹の育成状況の確認や気仙支部様で斎行されております慰霊祭にも積極的に助勢してきました。

平成二十三年より行ってきました当会の継続事業であります親子禊練成会は、成熟しながらも新たなステップを歩むべく、開催近隣の小学生を多く集め、神社に少しでも興味関心を得てもらうため実施してきました。そして、神道青年全国協議会より「教化事業賞」を賜り会員一同身の引き締まる思いと共に、今後も継続していくことを誓ったことが思い出されます。

また、東北六県神道青年協議会主催の「禊練成会」においては、当県が主管となり岩手郡雫石町にて開催致しました。準備の段階から手探りの中、東北六県の同志をお迎えし共に学びを得たことは会員一人ひとりの成長に繋がったと感じております。

そして、本年三月に開催させて頂きました、当会創立七十周年式典及び記念事業においては「承前啓後」のローガンを掲げ、これまでの歴史を振り返りながら未来へ残すもの、

変化させていくものをしつかりと見極めるべく約一年半かけて実施してきました。記念事業としては、沖繩摩文仁の丘岩手の塔にて物故者慰霊祭の斎行をはじめ、記念誌の作成、歴代会長との座談会、記念品の作成等を行ってきました。また式典及び祝賀会においては、多くの皆様にご参加賜り激励のお言葉を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

最後に、これまで関わった皆様に心より感謝申し上げますとともに、藤原新会長を中心にごんな困難においても協力しながら事業に取り組んでいただき、斯界の尖兵として更なる活躍を期待申し上げます。会長退任の挨拶とさせていただきます。

二年間、お世話になりました。ありがとうございます。

# 定時総会開催

平成三十一年度定時総会は、四月二十六日（金）岩手県神社庁を会場に、藤原神社庁長を来賓に迎え、会員二十二人出席の下、開催された。

冒頭、藤原庁長より、夏に控えた参議院議員選挙が憲法改正の為にどれほど重要であるか、厳しい選挙となることが予想される為に地域の方々を巻き込んだ活動を期待する旨ご祝辞を賜った。

議事は千葉常任委員が議長に選出され、進行。会則変更承認後、新執行部に体制が変わり新役員について藤原会長より指名、直ちに承認となった。すべての議案は原案の通り可決され、総会後は坂本副庁長をお招きし盛大に懇親会が行われた。

## 議事

- 一、平成三十年年度会務報告の件
- 二、平成三十年度収支決算の件
- 三、役員改選の件
- 四、平成三十一年度活動方針の件
- 五、平成三十一年度予算の件
- 六、その他



藤原庁長より激励賜る

## 活動報告

自平成三十一年四月  
至令和元年六月

四月四日 神社庁神殿例祭

高橋前会長参列

四月十七日 神道青年全国協議会創立七十周年記念大会（明治記念館）藤原会長以下五名出席

四月十八日 第七十一回神道青年全国協議会定例総会（神社本庁）藤原会長・駒形副会長出席

四月二十六日 平成三十一年度定時総会

五月十七日 美しい日本の憲法をつくる岩手県民の会総会（岩手県神社庁）藤原会長・谷藤副会長出席

五月十七日 岩手県建国記念日奉祝会総会（岩手県神社庁）藤原会長・谷藤副会長出席

五月三十一日 第一回役員会・岩手護国神社清掃奉仕活動（盛岡八幡宮）

六月十・十一日 令和元年度東北六県神道青年協議会禊錬成会（青森県・平川）藤原会長以下十名受講

### 編集後記

藤原新会長の下、広報委員会も小保内前委員長から引き続き、今号の発行となりました。

今年の三月には承前啓後のスローガンのもと、岩手県神道青年会七十周年記念式典を執り行いました。先輩諸賢の足跡を辿り、後世へと活動を続けて行くためにも、道標としての本紙の役割を継続して行っていく必要を改めて実感し、お力添えを頂きながら取り組んで参りたいと思います。（阿）

発行所 岩手県神道青年会  
盛岡市門字須摩十  
電話 〇一九・六二三・九五七四（FAX共通）